

生きる力を豊かにたくましく



# あいほうぷだより

## 星の会会長杯

## 30本ボウリング大会開催!!

NO. 267 責任者  
青山 茂次郎



星の会会長の井上さんの公約であった、ボウリング大会を開催しました。



決勝戦は全員が多目的ホールに集まり、大きな歓声の中でみんな1球ずつ集中して投げていました。

…で栄えある第一回大会の優勝は……………



30ピン ボウリングのルールを作りました

- ・何回球を投げてすべて倒せるか」を班対向で競い合う。
- ・投球前にガチャを回して、くじ引きの様な形で投球する球を決定する。

\*球の種類：普段使っているボウリングの球、バランスボール、ペットボトル、おもちゃのボール、ガムテープ

ボウリングは普通、10本のピンを倒すのですが、今大会は30本のピンを使いました。

各班がそれぞれでゲームを行い、何投で30本あるピンを倒したか審判立会いの下、申告しました。そして、上位2チームが2月19日(水)に決勝戦となりました。決勝に進んだのはサマー班とピース班で予選の投球数は共に29投でした。他が30投以上の中、その2チームだけが、30投を切っていました。

**ピース班**でした！  
スコアは25-21 で接戦でした。勝因を聞くと、「くじ運が良かった」や「決勝戦の時の皆の歓声が集団力を高めてくれた」等、みなさん謙遜して、話していました。



ガチャも真剣に



バランスボールで

### 新しいボランティアさんからのメッセージ

私は2021年に言語聴覚士の臨床実習で約1ヶ月間お世話になりました。実習では、職員の方はもちろん、利用者の皆さんも温かく迎い入れてくださり、不器用な私にみなさん色々教えて下さいました。この実習で経験した事は、社会人になって非常に役立っています。

実習から2年が経ち、久しぶりにお手伝いさせていただきました。皆さんの温かみは変わらず、多くの方が優しく話しかけて下さいました。また、ボランティアにお伺いできればと思っています。

AH

## 施設懇談に向けて

1月に星の会が提出した要望書の回答をうけ取りました

1月31日に施設より施設への要望書の回答書を受け取りました。あいほうぶでは施設懇談があり、利用者から施設に向けて改善して欲しい事や要望などを伝え、話し合う懇談会を設けています。

前年度の「宇宙班、調理実習室の空調を直して欲しい」と言う要望がかない、今年度の12月に空調修理の工事を終え、現在は快適に利用することができます。今年度の回答を元に来年度に向けて利用者みなさんで話し合いを進め、3月の施設交渉に臨みたいと思います。



要望書を提出する星の会の井上会長

## 2024年度 星の会より施設への要望

- 旅行に行きたい(サマー班)(宇宙そら班)
- 昼食後の抹茶の取り組みを再開して欲しい(オータム班)
- スヌーズレンルームを再開して欲しい(オータム班)
- 音楽イベントをするスタッフを増やして欲しい(すぷりんぐ班)
- いろいろなスタッフと取り組みたい。普段の班の取り組みを他班の職員とすることで、班での活動や活躍をいろいろなスタッフに見てもらいたい(すぷりんぐ班)
- 明るい部屋で取り組みたい。節電の為、部屋の電気の節約をしていますが、暗いのでLED化を進めて欲しい(オータム班)
- 施設利用者や地域の方の作品を展示する為、ピクチャーレールを1階、廊下に取り付けて欲しい。障がい者支援交流センターの名前の通り交流の場としたい(宇宙班)
- オープンレンジを新しいものにして欲しい。今あるオープンレンジが汚れてるので、新しい綺麗なものでお菓子作りや料理をしたい(ピース班)
- 班のカーテンを綺麗にして欲しい。班のカーテンは防災素材のため洗濯ができません。年に2回ほどクリーニングに出してほしいです。ブラインドカーテンのほこりも綺麗にして欲しい(サマー班)
- 車のカーテンを綺麗にして欲しい。特に中型リフトのカーテンが汚いので新しいカーテンを購入して欲しい(サマー班)
- 毎年の施設懇談の要望に「職員を増やして欲しい」とありますが、いっこうに職員は増えていません。職員を増やす事で施設が行った内容と結果そして改善策を教えて欲しい。毎年人手不足が解消されずにいます(宇宙班)

## プラネタリウムで夜空の旅

～サマー班 所外活動～

伊丹市立こども文化科学館のプラネタリウムにサマー班のメンバーが行ってきました。

そこでは、プラネタリウムだけでなく、色々な宇宙に関する展示物があり、見るだけでなく、小さなロケットを打ち上げたりできる体験コーナーもありました。

みなさんはそんな体験を楽しんだり驚いたりして、普段見せない表情を見せてくれました。プラネタリウムの中でもみんな興味津々で目をパチクリさせていました。



スノーマンのイベントにも遭遇!!



ボタンを押すとロケットが飛び出てビックリ

## 小高さんと一緒に考えよう

最近、小高さんが気に入って、取り組んでいることのひとつにChatGPTと対話をする事です。その一部をお伝えします。



ChatGPTとはアメリカのOpen AI社によって開発された、人間との対話に近い自然な文章を生成するwebサービスです。その機能は多岐に渡り、文章の要約等からプログラミングコードの作成、絵画の作成、そして音楽の作曲に至るまで、人間に代わって様々な事をしてくれます。

それを使って、小高さんは色々な質問を投げかけ、勉強の材料にしておられます。そして、それに、核戦争の可能性を尋ねてみると、「核戦争の可能性を明確に確立として表すのは難しい」と前置きしながらも、「核戦争の発生確率を年間1~3%と推定されるケースが一般的」という事です。一桁の確率で安心される方もおられるかも知れませんが、これを10~20年スパンの長期的な視点になると10~20%と一気に跳

ね上がります。

結論で、「これはあくまで理論上の推測であり、外交的な努力が進めばリスクは低減します。一方で偶発的な事件や新たな核保有国の登場によって、リスクが大幅に高まる可能性も排除できません。」という事でした。

そのアメリカ由来のChatGPTが導き出した文章の中に、「1945年の広島・長崎の原爆投下以降、核兵器は実際の戦争の中では使われていません。この経験を元にした核抑止の原則が続いているため、過去80年で核戦争は回避されてきました。」というのがありました。

その回避させている力は原爆の犠牲者の方々力と言っても過言ではありません。また、小高さんも読んだ永井隆さんの遺著「この子を残して」は残される子供達の事を思い、「子供達に未来をつなげる事こそが私の使命」と考え、「次世代への責任」という普遍的なメッセージが込められています。小高さんもこのメッセージのバトンを後世につなぎたいと思って、どうにかして色々な人にその事を「伝えたい(広めたい)」と願っています。

## 家族会主催

### 減災学習会「みんなで助かる」

障害のある子をもつ親であり、防災士として活躍されている温井恵美子さんを講師にお招きし学習会を30日に行ないました。お話は全て説得力のあるものでした。なんとなくいつか来るだろうと思っていた南海トラフの実態！！

具体的に食料、電気、トイレ用品、薬、衛生備品の数など備蓄に対する心構えも、そして個人的な備えの他に、あいほうぷ家族会として用意できるものがあるのではと早急に検討すべき課題がありました。医療的ケアのある方は、西日本一帯が被災地になった時、避難先としてどこの病院にカルテを作っておくべきか？



太平洋側でなく日本海側への疎開が必要になる日が来る！今動かなくてはという心揺すぶられる学習会でした。家族会に出席された方からもこんな意義のある講習を受ける事ができて良かったという声がありました。

# プール・介助浴室を開放しています

土曜日、日曜日はあいほうぶ吹田の温水プールと介助浴室を一般の方に開放しています。

プールや入浴は、リハビリにも効果的です。ぜひご利用ください。

利用できる方：吹田市内にお住まいの障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方とその介助者。

プールは18歳未満の方も利用できますが、18歳以上の介助者の同伴が必要です。

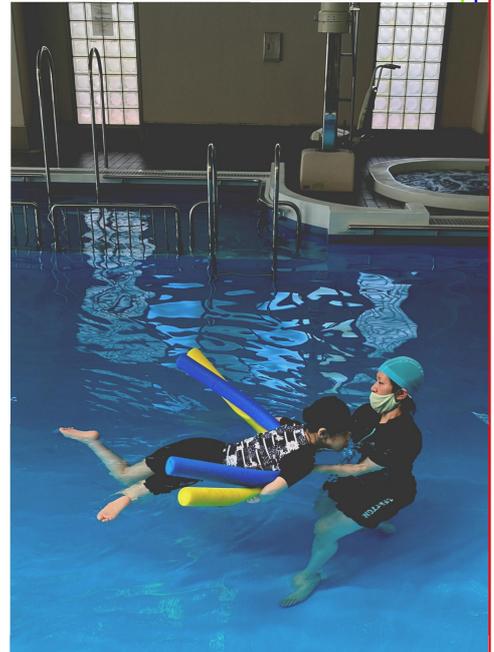
利用時間：10時～16時

## 注意事項 プール利用について

- ・混雑を避ける為に定員を設けています。
- ・スイミングキャップが必要です。
- ・受付で障がい者手帳を提示し、手続きをしてください。
- ・観覧者はマスクをして、廊下からご覧ください。
- ・採暖室と更衣室(シャワー室を含む)の利用は原則1組に限ります。

## 介助浴室利用について

- ・介助浴室の利用は、予約制で、原則前日の17時までです。
- ・原則1時間に1組。
- ＊ボディソープ、シャンプーはご持参ください。



## 多目的ホール・会議室が 利用できます

(土日9時～17時)

障がい者団体あるいはその支援団体、ボランティア団体などの活動の場、交流の場として利用できます。(事前登録が必要)

## 編集後記

年度末は、みな様忙しくお過ごしのことと思います。春から新生活を迎える方にとっては、期待と不安を感じる時期ですね。4月からの大きなイベントと言えば、大阪・関西万博が始まります。ご存知かと思いますが、テーマは「いのち輝く未来社会デザイン」。物価高騰や世界情勢の不安定な中なので、70年前の大阪万博の時のような盛り上がりを感じられればと期待しています。

また、ここ、あいほうぶ吹田でも、いのち輝く支援をデザインしていただけるように2025年度に向けて奮闘中です。皆様にとっても素敵な春を迎えられること願っています。今年度もご愛読ありがとうございます。

T



### 吹田市立障害者支援交流センター あいほうぶ吹田

(吹田市指定管理者 社会福祉法人 さつき福祉会)

吹田市千里万博公園12-27

生活介護事業 06-6816-6895 短期入所事業 06-6816-6897

メール i-staff@s5.dion.ne.jp ファックス 06-6816-6898

ホームページ <http://satuki-fuku.sakura.ne.jp/ihope/index.htm>